

食品中の放射性物質検査結果

平成23年3月に、東日本大震災による福島第一原子力発電所事故がおき、食品中の放射性物質検査が急務となりました。そこで、横浜市衛生研究所においてもガンマ線核種分析装置を導入し、平成23年7月より検査を開始しました。

平成26年4月から平成27年3月までに当所に搬入された食品の検査結果は表1、表2のとおりでした。検査の結果、基準値を超えた検体はありませんでした。

表1 検体の種類

検体の種類	説明	検査検体数	Cs検出検体数
市内産農産物	横浜市内産の農産物	33	6
市内産水産物	横浜市内漁港水揚げの魚介類	80	0
市内産畜産物	横浜市内産の原乳	5	0
インターネット販売食品	インターネット上で流通している食品	10	4
小学校給食	主食のパン・米類及び牛乳など	315	0
合計		443	10

表2 検査結果

検体の種類	検査検体名 []内は検体数	Cs検出検体	結果	基準値
		[]内はCs検出 検体数	Cs-134、Cs-137 合計値(Bq/kg)	Cs-134、Cs-137 合計値(Bq/kg)
市内産農産物	いちご[1]、うめ[1]、えだまめ[1]、カリフラワー[1]、キャベツ[1]、きゅうり[1]、こまつな[3]、小麦[1]、さといも[1]、しいたけ(生)[1]、だいこんの根[2]、たけのこ[3]、たまねぎ[1]、とうもろこし[1]、トマト[2]、なす[1]、にがうり[1]、日本なし[1]、ねぎ[1]、はくさい[1]、ばれいしょ[1]、ぶどう[1]、ブルーベリー[1]、ブロッコリー[1]、ほうれんそう[1]、みかん[1]、レタス[1]	しいたけ(生)[1]	2.2	100
			15	
		たけのこ[3]	17	100
			34	
		にがうり[1]	1.1	100
	みかん[1]	0.75	100	
市内産水産物	アカカマス[3]、イシガレイ[1]、イボダイ[1]、ウミタナゴ[4]、カナガシラ[4]、キチヌ(キビレ)[1]、クロダイ[2]、コショウダイ[2]、コノシロ[1]、ゴマサバ[6]、シリヤケイカ[4]、シログチ[12]、ジンドウイカ[3]、スズキ[4]、タチウオ[3]、チダイ[1]、ヒラメ[4]、ホウボウ[1]、マアジ[2]、マアナゴ[1]、マコガレイ[5]、マゴチ[7]、マルアジ[4]、ムシガレイ[2]、メジナ[2]	—	—	—
市内産畜産物	原乳[5]	—	—	—
インターネット販売食品	あんぼ柿[1]、うぐいすきな粉[2]、エリンギ[1]、かき(むき身)[1]、牛乳[1]、米[1]、小女子[1]、りんご[1]、れんこん[1]	うぐいすきな粉[1]	1.5	100
		エリンギ[1]	0.64	100
		りんご[1]	2.1	100
		れんこん[1]	3.6	100
小学校給食	あずき[1]、牛乳[139]、米[61]、胚芽米[26]、発酵乳[4]、パン[56]、麦[27]、もち米[1]	—	—	—

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】